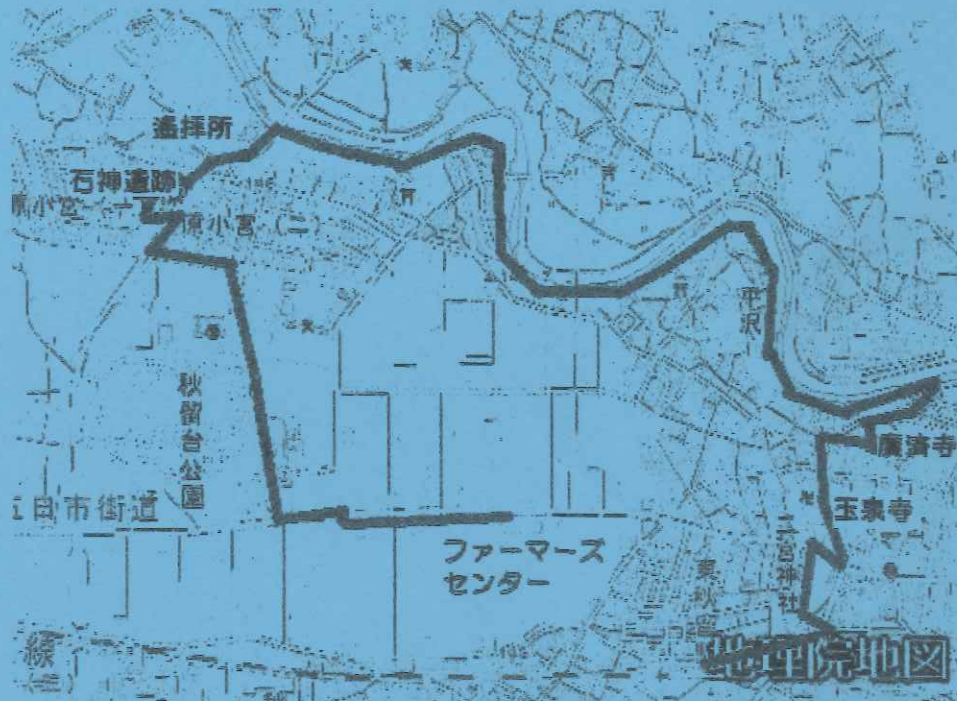


コース



ご参加の皆様へお願い

- ・集合から解散までは統一行動とします
- ・歩行中は1列または2列で歩き、道路横断時など交通安全に十分に気をつけてください
- ・急坂や石段などもありますので、足元には十分に気をつけてください
- ・果樹や野菜、植物を採取しないでください
- ・地元の方々のご理解・ご協力をいただき、神社・寺院などに伺います。失礼のないようにしてください
- ・ゴミは、各自お持ち帰りください
- ・記録写真を撮る場合がありますので、ご了承ください
- ・活動中の飲酒はご遠慮ください

市民解説員が案内する市内探訪

田中丘隅と寺社めぐり

～ゆかりの平沢を歩く～



令和2年11月6日(金) 午前9時～12時30分

あきる野市中央公民館

私たち市民解説員はふるきとあきる野を愛し、地域の自然・歴史・文化の再発見に努めるとともに、これらを市民の皆様を紹介し、まちづくりと生涯学習の推進を図るボランティアです。あきる野市は、自然や遺跡、文化財の宝庫です。美しく恵まれた環境のもとで、地域の皆様と一緒に学びあい、活動できることを嬉しく思っています。今後ともよろしくお願ひします。

・担当市民解説員 山本量三 高橋 栗原岩雄 奥森利一 住友恒正

1 二宮神社

創建年代は不明です

その昔、小川大明神又は二宮大明神となえ、明治3年に二宮神社に改称されました。

武蔵の国の総社である大國魂神社に祀られた、六所宮の二番目の神として祀られている由緒ある神社です

2 お池とその周辺

日本武尊が東征のおり武蔵野国に入り、将兵大いに喉が渴いたため、この池に水国の心霊「國常立尊神」を祀り、水を賜えと祈ったところ、たちまち清水が湧き出してきたという伝説がある。池は秋留台地の地下水による湧水で枯れたことがなく、古代縄文・弥生時代から昭和まで稲作の水源となってきた。雨乞いの場所に若者の銅像が建っている。お池の脇にオシャモジ様を祀った祠がある。風邪・特に咳に靈験があるといわれ、奉納されているオシャモジ様を借りてきて住まいで回復を祈願し、治ると新しいオシャモジをお礼に奉納したという。

お池の周辺には、あきる野市指定天然記念物のフジ、ヤナギの樹木や記念碑等もある。

3 玉泉寺

名称；鷲峰山玉泉寺 天台宗比叡山延暦寺派

創建；元禄以前に多摩川べりに精舎があった

開山；開基不詳

本尊；阿弥陀如来と脇侍に観音と勢至の両菩薩

寺紋；信州善光寺に類似。一時期別院の役割。

朱印；慶安二年(1649)三代将軍家光より20石二宮小学校；東秋留小学校の前身がありました

見所；①本堂内に安置された不動明王

②山門の両脇の仁王像

③大樽に安置された平和観音と恵比寿様

④合掌する赤子を抱いた子育て地蔵

⑤市指定天然記念物エノキの大木

4、廣濟寺と田中丘隅回向墓

☆廣濟寺

・名称；平澤山 廣濟寺 臨濟宗建長寺派

・本尊；釈迦牟尼如来

・開創；天正15年(1587・安土桃山時代)

・本堂；昭和24年(1949)罹災消失。平成6年旧姿に復す

☆田中丘隅回向墓

田中丘隅は、あきる野市平沢出身の江戸時代中期の民政家。(平沢村の名主、窪島家の次男)

20代はじめに、川崎宿本陣で名主の田中家の養子となり、50歳で隠居して学問の道へ入り、60歳で、名著「民間省要」を世に問ひ、これが8代将軍吉宗に認められ、大岡越前配下の支配勘定格として多くの治水工事を成し遂げた。

晩年には、武蔵の國三万石を支配する三十人扶持(ぶち)代官にまでなるも68歳で急死。

回向墓は丘隅より長生きをした兄、窪島祖道が建立。(川崎に本墓)

5、小宮神社遷擇所・蕃椒(とうがらし)地蔵

☆小宮一神門の碑

平成20年、桜株の根元から小宮一神門の碑が掘り出されました。往時の平井川溪谷を隔てて鎮座する小宮神社を遷擇する一番目の門として、江戸時代に安置された碑です

☆蕃椒地蔵

蕃椒地蔵は、元は代田橋の坂の所にありましたが、昭和のはじめ、道路改修のため、この遷擇所に移されてきました。

☆その他庚申塔など

6、石神遺跡

☆縄文時代の集石土坑(蒸し焼き調理跡) 4基

☆弥生時代から吉墳時代初期の住居跡 18軒

☆周溝墓 4基

☆吉墳時代後期の住居跡 37軒

☆古代(奈良平安時代頃)の住居跡 24軒

☆中世の井戸 1基

☆その他、土師器(ほじき)と呼ばれる素焼きの甕や壺、鉄製の鎌など

解散場所；秋川ファーマーズセンター

平成5年にオープンした直売コーナーを中心とした農業者と市民の親睦や交流促進の施設です。

なお、田中丘隅にまつわる展示コーナーがあります